



ノーコード宣言シティー 宣言書

岐阜県下呂市は、革新的なシステム構築（アプリケーション開発、Webサイト構築、データ連携など 以下、システム構築という。）技術である「ノーコード」を最大限に活用し、自治体業務や住民サービスの改革を推進することで、デジタル田園都市構想に貢献する先進的な自治体となることをここに誓います。

- ①システム構築の加速とコスト削減：職員自らが「ノーコード」を活用したシステム構築に取り組むことで、構築のスピードアップとコスト削減を目指します。
- ②ノーコードによる職員の働き方改革：「ノーコード」を活用することで、職員の業務時間短縮と職務の柔軟性向上を実現し、職員の満足度向上を目指します。
- ③ノーコードによる地域社会への貢献：「ノーコード」を活用することで、住民サービスのデジタル化、モバイル化を促進し、先進の住民サービスを提供することで、地域住民や地域企業の満足度向上を目指します。
- ④ノーコード人材の育成：職員と住民のリスキリングの一環として職員自らが「ノーコード」の活用を学び、地域住民や企業にも「ノーコード」活用を働きかけ地域全体のデジタル競争力強化を目指します。
- ⑤ノーコード宣言シティーのアピール：日本のソフトウェア文化の変革に向けて、自治体における「ノーコード」活用事例の広報に取り組みます。

2024年 1月 16日

岐阜県下呂市
市長 山内登

上記の自治体が「ノーコード宣言シティー」を宣言されたことを証明します。

2024年 1月 16日

一般社団法人
ノーコード推進協会
代表理事 中山五輪男

